

腰痛がすぐ治る！

～脊椎圧迫骨折に対するBKP手術について～

高齢になると骨が弱くなって骨粗鬆症になります。そして、転んで尻もちをついたり、重いものを持ち上げたとき、あるいは咳をするなど日常的なちょっとしたことが原因で、胸椎や腰椎の骨が折れてしまうことがあります(圧迫骨折)。骨折をすると激痛のため、歩くことはおろか座っていることや寝返りすることすら出来なくなってしまうます。

そのような場合の治療としては、以前は安静にしてひたすら寝ているしかありませんでした。少なくとも1～2週間は完全に寝たきりとなり、少し痛みが落ち着いてきたらゆっくり起きあがって恐る恐る歩く練習をするというのが今までの治療法であり、退院できるまで1か月、あるいはそれ以上かかってしまうことも少なくありませんでした。

また、急性期の激痛が治まって一応は歩けるようになっても、実は骨折はきちんと治りきっておらず、慢性的な痛みが残ってしまい日常生活にかなり支障をきたしておられる患者様もかなりいらっしゃいました。

このような脊椎の圧迫骨折に対して、現在ではBKP (Balloon KyphoPlasty: バルーンによる経皮的椎体形成術)という手術法が開発され、当院でも多数の患者様に実施しております。

手術といっても大がかりなものではなく、背部に数mmの傷が2か所つくだけであり、出血もほとんどなく、20～30分程度で終わる身体の負担が圧倒的に少なく済む手術です。

背中から骨のなかに細い棒を差し込んでバルーンを膨らませ、つぶれた骨を矯正し、骨用のセメントを注入して骨折を治す新しい手術方法なのです。





驚くべきはその効果であり、手術後すぐに痛みが全くなかったことをご実感される方も少なくありません。手術を行った私たちの方もびっくりしてしまう程です。

ほとんどの方が翌日から歩行練習を始め、数日～7日程度で退院となります。

この治療法は平成24年の保険改正により「経皮的椎体形成術」として正式な手術と認められ、保険適応となりました。BKP手術には認定資格が必要であり、特別なトレーニングを受けて試験に合格した医師のみが施行できる治療法であり、まだ東京都内でも手術可能な病院は限られています。

BKP手術に関する詳細は、当院整形外科(脊椎外科)外来でご相談ください。

なおBKP手術は、すべての圧迫骨折に対して施行できるわけではありません。背骨が完全につぶれて扁平化してしまっている場合、つぶれた状態で固まってしまっている場合、うしろの神経を圧迫している場合などは施行できません。また、手術直後より痛みは改善しますが、骨粗鬆症自体が治ったわけではありませんので、他の骨に今後発生するかもしれない圧迫骨折をいかに防止するかが大切です。そのために当科では骨粗鬆症の治療にも力を入れています。

			
<p>背中から棒を挿入し、骨折した椎体への経路を作ります。そこへ小さな風船のついた器具を入れます。</p>	<p>椎体の中に入れた風船を徐々に膨らませ、つぶれた骨を持ち上げて、できるだけ骨折前の形に戻します。</p>	<p>風船を抜くと、椎体内に空間ができます。その空間を満たすように、骨セメントを充填します。</p>	<p>手術は 20～30 分程度で終わり、骨セメントは手術中に固まります。</p>

下記のホームページにも詳しい説明が載っていますので参考にしてください。

『せぼねと健康.com』

<http://www.sebonetokenko.com/compression-fracture/bkp/index.html>

